



# ASAHIGAWA ROTARY CLUB

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2500 No.3 GROUP  
Established on October 26th.1934 RI No.3744

国際ロータリー第2500地区 第3分区

## 旭川ロータリークラブ 会報

第3637回例会 Vol.77 No.38 2026(令和8)年6月5日(金)

### ▼ プログラム

#### 家族の夕べ(夜間)

#### メニュー

- ・トウモロコシとホタテのスモーク キャビア添え
- ・海の幸と夏野菜のサラダ
- ・ヴィシソワーズのパリソール仕立て
- ・白身魚のグリエ タブナードソース
- ・牛肉のポワレ 赤ワインソース
- ・ラベンダーとパッションフルーツのムース ミルクアイスクリーム添え
- ・パン2種とバター
- ・コーヒー

#### ロータリー親睦活動月間

#### 出席報告

第3636回例会

5月29日

会	員	102名
出	席	54名
出	席	率 52.94%

#### RIテーマ

会長 フランチェスコ・アレツツォ

### “よいことのために手を取りあおう”

6月12日(金) 第3638回例会プログラム

新入会員卓話 株式会社セーブ・エナジー 代表取締役 外崎裕二 会員

#### これからの予定

6月19日(金) ゲストスピーチ 旭川医科大学 教授・病理医 谷野美智枝 氏

6月26日(金) 新旧引継例会

7月3日(金) 会長、クラブ奉仕方針発表

5月29日(金) 第3636回例会の記録

開 会 宣 言 水上 崇 会場副監督

点 鐘 会長 12:30

ロータリーソング斉唱 それでこそロータリー

- 会 長 濱岡雄史 ●編 集 会報委員会 ●委員長 大蔵真美 ●担 当 佐藤弘康
- 例会日 毎週金曜日 12:30~13:30 ●事務局 五十嵐友紀子
- 例会場 星野リゾート OMO7 旭川 〒070-0036 旭川市6条通9丁目 TEL(0166)29-2777 FAX 24-2114
- 事務局 道北経済センタービル 2F 〒070-0043 旭川市常盤通1丁目 TEL(0166)25-1551 FAX 23-3398
- ホームページ <http://www.asahigawarc.org/> ●Facebook [facebook.com/asahigawaRC/](https://www.facebook.com/asahigawaRC/)



facebook

## 会長挨拶：濱岡雄史

皆様、本日も例会にお集まりいただきありがとうございます。ごぞいます。

本日のゲストスピーカーは北海道ファミリーホーム協議会 会長 長谷川寛治様です。後ほど、スピーチをよろしくお願いたします。また、本日のゲストはRI理事エレクトの中谷様と第3分区ガバナー補佐エレクトの駒形様です。後ほどご挨拶をお願いたします。

さて、本日の例会では、明日開催のロータリーの伝統的な取り組みである「炉辺会合」について、改めてその意義を共有したいと思います。

「炉辺」とは、もともと暖炉や囲炉裏のそばを意味し、家族や仲間がくつろいで語り合う、温かい団らんの場を象徴する言葉です。

ロータリーにおける炉辺会合も、この原点を大切にしながら、少人数で肩の力を抜いて語り合う、親睦と理解の場として受け継がれてきました。

炉辺会合の魅力は、何よりも本音で話せる距離の近さにあります。正式な例会ではなかなか聞けない会員の思いや経験、クラブへの期待などが、自然と語られるのが炉辺会合です。年齢や役職を超えて、互いの人柄に触れ、信頼関係を深めることができるのは、この場ならではの良さだと感じます。

また、新入会員にとっては、クラブの歴史や理念、先輩会員の考え方に触れられる貴重な機会となります。一方でベテラン会員にとっても、新しい視点や若い感性に触れ、クラブの未来を考えるヒントを得られる場でもあります。まさに、ロータリーが大切にしてきた「相互理解」と「継承」の精神が息づく時間です。

炉辺会合では、クラブの目的や活動方針について語り合うこともあれば、会員増強のアイデア、奉仕活動の可能性、例会運営の工夫など、自由に率直な意見交換が行われます。

時には趣味の話や近況報告で盛り上がり、親睦が一層深まることもあります。こうした積み重ねが、クラブ全体の活力につながっていくのだと思います。

今後も、炉辺会合を単なる懇談の場としてではなく、クラブの文化を育て、会員同士の絆を強め

る大切な機会として、積極的に活用していければと考えています。

それでは、お食事にいたします。



中谷研一様（左）、駒形貞洋様（右）よりご挨拶をいただきました。

## 会 務 報 告

旭川市より「令和8年度旭川市暴力追放運動推進協議会総会開催結果について」収受

## 委 員 会 報 告

水上 地区大会実行委員長より

- ・地区大会実行委員会組織についてのご案内
- ・地区大会実行委員会組織についてのご案内
- ・地区大会実行委員会組織についてのご案内

## 来 訪 者 紹 介

RI理事エレクト 中谷研一様 足利東RC

## ビ ジ タ ー 紹 介

RI第2500地区第3分区ガバナー補佐エレクト  
駒形貞洋様 旭川東RC

(職業分類：宗教用具販売)

## ニ コ ニ コ ボ ッ ク ス

駒形貞洋様

(RI第2500地区第3分区ガバナー補佐エレクト)

中谷RI理事エレクト、本日はようこそ第3分区へ。寒い中、ありがとうございます。

旭川クラブの皆様、改めましてよろしくお願いたします。

小川雅与 会員

お誕生日祝いを頂きました。ありがとうございます。  
います。

宮崎陽江 会員

5月16日の大雪クリスタル公演におきまして、  
沢山の皆様にお越しいただきまして誠にあり  
がとうございました。

来週、家族会にて大変お世話になります。よ  
ろしく願いいたします。

## メークアップ

5月23日(土)～5月29日(金)迄 敬称略

〔5月23日(土) インターアクト地区大会へ〕

國松 誠 会員・太田弘文 会員・石平洋二 会員  
新田 守 会員

〔5月24日(日) インターアクト地区大会へ〕

國松 誠 会員・太田弘文 会員・石平洋二 会員  
新田 守 会員

## プログラム

ゲストスピーチ

「新しい時代の里親『ファミリーホーム』について」

一般社団法人北海道ファミリーホーム協議会会長  
道北双葉里親会会長 長谷川 寛治 氏



皆さんもご存知かと思いますが、里親という制  
度は日本に昔からありました。子供を社会全体で  
育てる意味合いが非常に強いものでした。現在、  
日本では虐待や貧困などいろいろな理由で親と暮  
らせない子供が4万人以上います。

彼らを育てるしくみは、家庭養護、施設養護に  
大別できます。家庭養護とは、家庭の中で養育さ  
れていく制度です。施設養護には児童養護施設、

乳児院などがあります。ほかに精神的な障害、発  
達障害を抱えた子供が短期間に行くところなど  
もあります。

では、家庭養護と施設養護はどこが違うかとい  
えば、皆さんが思われている「家庭」は、お父さ  
んお母さんがいる、血縁関係が基本となっている  
家庭ですね。そうではなく、血縁関係のない子供  
も家庭で暮らせるはずだということで、厚労省、  
そして今のこども家庭庁は、家庭に必要な要素を  
いくつか挙げています。

まず養育する人です。ただ世話をするだけでは  
ありません。いつも気にかけてくれていると、子  
供にわかる存在です。次に、特定の養育者と共に  
暮らせる継続性です。「明日も明後日もこの関係  
が続く」という安心感が重要です。そして、一緒  
に食事に行く、一緒に旅行に行く、そういう一体  
性も必要です。そういうところから、情緒が生ま  
れ、失敗したときに回復する力が生まれます。も  
う一つ、家庭の「空気」も必要です。家庭だけ  
でなく、職場、学校など、組織はみんな空気があり  
ます。空気を感じる力も、家庭生活によって得ら  
れるものです。

施設には、子供たちを世話する職員の「先生」  
たちがいます。でも、先生たちにはそれぞれ自分  
の家庭があり、夜になれば帰宅します。もう一つ、  
施設は集団で子供を扱います。集団である以上、  
学校と同じようにルールが、規則や日課、日程が  
あります。家庭では、「食事のあとには食器はそ  
れぞれ台所に運ぶ」といったルールくらいしかあ  
りません。その日何を食べるのかなど、事前に決  
まっていないことがたくさんあります。「お母さ  
んが今日は具合が悪いから外で買ってこよう」な  
ど、臨機応変に決めることもあるでしょう。つま  
り家庭ではぼんやりしたもの、それが一番の基本  
となっているということです。

ここで「アタッチメント」についてお話させて  
いただきます。日本語で言えば「愛着」です。愛  
着の形成というのは、イギリスの精神科医ジョ  
ン・ボウルビィという方が提示した概念ですが、  
人間が幸福に生きるには、愛着が何よりも大切で  
す。多くの日本人の精神科医も同様の見方を示し  
ています。

特に乳児、幼児のころ、不安を感じるとお母さ

人など、日常的に暮らしている養育者にくっつき  
ますね。誰でもいいわけではなく、特定の人です。  
子供の愛着は、自分自身だけではなくて、他の人  
を信じるといふ力を発達させていき、それが共感  
性や心の理解能力に大きく寄与します。

社会的養護の研究が進んでいるのが欧州です。  
昔から戦争を繰り返してきた欧州では多くの孤児  
が生まれました。もともとは施設養護が中心でし  
たが、乳児・幼児の死亡率が普通の家庭よりも非  
常に高いことが問題になりました。衛生対策、食  
事の改善を行ったものの、一向に良くならない。  
そこで人的なケアを厚くしました。子供2人、3  
人に対して1人の職員がつき、かつその人が交代  
しないようにして初めて改善したわけです。

簡単に言うと、欧州では1900年ごろから、子  
供の養育は家庭で行う方向に仕組みがどんどん変  
わっています。安定したアタッチメントを作るか  
作れないかには、3～4歳ころまでの環境が非常  
に大きく影響します。しっかりした愛着がなけれ  
ば、子供は社会的、心理的に非常に大きな問題を  
抱える可能性があります。

世界的に見れば、家庭養護が主流です。2010  
年の資料によれば、家庭養護の比率はオーストラ  
リアで93%、アメリカで77%、イギリスで71%、  
韓国で43%です。日本は当時12%、2021年の時  
点では23.5%となっています。

この間、2016年に児童福祉法が改正されまし  
た。一番のポイントは、その3条で「家庭におけ  
る養育環境と同様の養育環境において継続的に養  
育されるよう必要な措置を講じなければならない」と明記したことです。この法改正に基づき、  
国が示した「社会的養育ビジョン」には、家庭養  
育を原則優先することが盛り込まれました。3歳  
未満の子供については家庭養育を75%に、全体  
で50%を10年以内を実現するとの数値目標も掲  
げられました。

私は30年近く前から里親をして、子供たちを  
迎えてきました。(写真を示しながら)双子を迎  
えたこと、障害をもつ子を迎えたこともあります。  
家庭だけでなく、町内会の行事にも出ます。この  
子供たちはもう大きくなっています。

家庭養護や施設養護から卒業した若者たちの団  
体「日向ぼっこ」が「施設で育った子どもたちの

居場所『日向ぼっこ』と社会的養護」という本を  
出しています。その裏表紙に書いてある言葉を紹  
介します。

「施設で生活した私が施設に求めるのは、一緒  
に生きてくれる人を失った子供たちにとって、一緒  
に生きてくれる人が見つかる場所であってほしい  
ということです」

今日この会場にはいろいろな方がいらしていま  
すが、とくに定年を迎えた方は、里親になったり、  
ファミリーホームを開いていただきたいと思っ  
ています。ありがとうございました。

石狩市で「ファミリーホームいかり」を開設していた中谷孝幸さんは心臓疾患悪化のため令和8年3月31日  
をもってファミリーホームを閉鎖いたしました。  
以下は令和8年4月の一般社団法人 北海道ファミリーホーム協議会 設立総会における講演メモです。

#### 「36年 子どもに寄り添って」

平成元年に里親になってから26年、ファミリーホームをして70年、通算36年子どもたちと、  
触れ合ってきました。

我が家では、家族内の人間関係を大事にしています。人間の人格形成におおきな影響  
を与え、個人の精神的、健康を大きく左右するからです。

里親を始めたころは、養育に力が入って、この子どもは、絶対私が幸せにするんだと思って、  
理想の姿に、少しでも近づけるように思っていました。  
いつのころからか、それは私の一人よがり、(エゴ)ではないかと思うようになりました。

我が家に来る子どもたちは、十人十色で、理想と比べる事自体が間違っていました。  
一人、一人の個性に合わせて行かないと、後で色々な症状となって現れます。  
暮れる子どもや、物やお金を盗む子ども、リストカットする子どもなど、里親やホームに来る  
までも、心に傷だらけの子どもたちなので、余計に傷付きます。  
36年子どもたちに寄り添ってきた中の一コマを紹介いたします

夏の暑い日に、男子の三人兄弟が我が家へやって来ました。4年生のA君と3年生の  
B君と、2年生のC君、3兄弟です。

子どもたちは、母親の虐待でA君は母親と喧嘩をして、母親と毎日殴り合っていたそう  
です。我が家に来た時は、お母さんを、憎んでいました。

私が一番驚いたことは、三人とも布団で寝た事が無いということでした。  
布団で寝かせても、暑いと言って、いつも床の上で何も掛けずに寝ていました。

二、三ヶ月で、布団で寝るようにはなりませんが、タオルケットや布団を掛けずに、裸で寝  
ていました。

食事も、ご飯にワカゲ、納豆、ザンギ、カップラーメン、それ以外の物は食べませんでした。  
ご飯を食べても、満腹感を感じられず、吐くまで食べていました。野菜は一口も食べませんで  
した。

服も三人で着回をして、同じ服を何日も着ようとして、「毎日着替えないとだめ」と言っても、  
理解出来なかったようです。

トイレの使い方、お風呂の入り方なども教えました。

一般社団法人 北海道ファミリーホーム協議会設立  
総会で講演をされた中谷孝幸さんのメモ(一部)。

点鐘 会長 13:30

## 今月誕生日を迎える会員

1953(昭和28)年6月4日 林 孝幸 会員  
1959(昭和34)年6月17日 上用 孝満 会員  
1966(昭和41)年6月1日 西田 稔 会員  
1967(昭和42)年6月6日 若井 賢治 会員  
1968(昭和43)年6月1日 高沼 克広 会員  
1976(昭和51)年6月19日 小野 友二 会員

計6名